



第4代 占部 治邦 教授

昭和46年(1971)7月～昭和62年(1987)3月

- 大正13年 (1924) 1月17日 福岡市にて出生
- 昭和23年 (1948) 9月 九州大学医学部卒業
- 昭和24年 (1949) 4月 九州大学大学院特別研究生 (皮膚科)
- 昭和29年 (1954) 4月 九州大学医学部助手 (皮膚科)
- 昭和29年 (1954) 5月 九州大学医学部講師 (皮膚科)
- 昭和30年 (1955) 4月 九州大学医学部助教授 (皮膚科)
- 昭和36年 (1961) 1月 久留米大学医学部教授 (皮膚科)
- 昭和46年 (1971) 7月 九州大学医学部教授 (皮膚科)
- 昭和58年 (1983) 4月 九州大学医学部附属病院長
(任期2年)
- 昭和62年 (1987) 3月 定年退官・占部医院 (福岡市) を継承
- 昭和62年 (1987) 4月 九州大学名誉教授
- 平成24年 (2012) 9月2日 逝去 (88歳)

叙勲：勲二等瑞宝章 (平12)



第四代教授

占部治邦(うらべ はるくに)先生 昭和46(1971)年7月- 昭和62(1987)年3月



- 学生紛争による学内荒廃にもかかわらず、入局者は98名に達する。
- 真菌症の第一人者として世界的に活躍。
性病とくに梅毒の実験的、臨床的研究、病理組織学(電顕)、免疫学、ウイルス学、形成外科と研究領域が広がる。
- 旭 正一助教授が昭和58年に、今山修平講師が昭和60年に皆見賞を受賞。
- 昭和51年: 第75回日本皮膚科学会総会。
昭和55年: 第24回日本医真菌学会。
昭和56年: 第2回日韓合同皮膚科学会。
昭和57年: 第6回日本小児皮膚科学会。
昭和60年~63年: 国際医真菌学会会長
昭和61年: 第4回国際小児皮膚科学会の会頭。
- 九州大学班長として、油症の解明、治療に尽力。
- 九州大学医学部附属病院長として病院の発展に尽力。